



来年も一致団結してがんばります！



雨で順延された第二回大会



記念すべき第一回大会



深夜まで行った袋詰め作業



大会へ出向き、新米杯のPR活動

地域づくり

Close-up

ソフトテニスの大会を開催して 新米のおいしさをPR

上毛コミュニティ新米クラブ

ソフトテニスを通して広げる 地域づくり

今から22年前、学校が隔週休2日制度になったことをきっかけに、中学生や高校生を対象に、毎年5月の第2土曜日に「ふれあいソフトテニス大会」を開催しています。この大会が次第に定着し、現在では440名以上の参加があります。

この「ふれあいソフトテニス大会」開催から14年後、当初選手として参加していたメンバーが一般のチームを結成し、福岡県民体育祭に出場するようになりました。

出場を重ねて他のチームと交流することで、改めて様々な年代でソフトテニスの愛好者が多いことを感じ、それなら地元で一般の大会が開催できるのではないかと考えるようになりました。

現在各地で行われている大会日程を調べると、主に4月から10月まではすでにスケジュールがいつぱいの状態です。その中で大会を開催し、参加してもらうためにはどうしたらいいか、参加して良かったと思ってもらうには何が必要かを話している時、メンバーから「西友校の新米は美味しいからそれを副賞にして10月

に開催できないか」という提案がありました。上毛町に来ていただき、穫れたての新米を持ち帰って食べていただくことで消費拡大にも繋がります。

大会開催に向けて準備を進める中、地域づくり活動団体の募集を知りました。自分たちの活動が地域づくり活動の目的と合致していることから、平成20年度に「ソフトテニスの大会を通して都市との交流を図り、上毛町の観光情報や西友校の美味しいお米をPRすること」を目標に掲げ、地域づくり活動団体に認定されました。

副賞を「上毛町の新米」にして 参加アピール

メンバーは15名で、そのほとんどが会社員です。年齢も20代から50代と幅広いのですが、全員がソフトテニスの経験者です。若いメンバーの多くは高校時代、インターハイなどに出場した経験があり、現在でも各地のクラブチームでプレーしている選手との交流があります。また壮年のメンバーも様々な大会に積極的に参加し、他のチームとの親交も深いことから青年と壮年の二手に分けて第1回目の「上毛町コミュニティ新米杯」開催に向けて参加募集活動を行

いました。パンフレットや要項を手作りし、「優勝チームには新米60キロ、準優勝チームには新米30キロ、3位でも20キロ、また参加賞にも新米2キロがもらえますよ」とお誘いすると「新米の副賞はめずらしいね。参加賞も全員にももらえるなんて楽しみだね」と反応も上々でした。

当初、10チーム程度の参加を予定していましたが、嬉しいことに北九州市から大分市まで21チームの参加がありました。思わぬ事態に新米の量は倍増し、なんと8俵の新米を準備しました。当然赤字運営です。さらに新米を精米し、袋詰め作業には毎日深夜までかかりました。それでも大会後のアンケートでは「新米をいただき、とても嬉しかった。来年もぜひ参加させてください」「こんなおいしい新米をはじめて食べました。家族も喜んでいます」という声が多く、苦勞の甲斐がありました。

第2回大会は雨で順延したにもかかわらず、多くのチームから「今年も新米をもらうために準備していたので参加します」と言っていただけ無事に開催することができました。

通称「こうげの米杯」として

みんなから待ち望まれる大会に

第6回となる今年は、10月19日(日)に大池公園多目的運動広場で開催しました。大会には一般の部8チーム、壮年の部8チーム、総勢100名を超える参加者があり、熱戦が繰り広げられました。

団体戦は1チーム、男子2組、女子1組の編成で行われます。メンバー不足のため出場が困

難なチームには大会前に選手を紹介しています。新米クラブからも運営の傍ら、2チームが参加し、試合を通して交流を深めました。

参加者からは、「この大会には福岡県と大分県のチームが参加していてチームのレベルアップにも繋がっています」と好評で、今では大会を、通称「こうげの米杯」と呼んで上毛町に訪れることを楽しみにしてくれるようになりました。

第3回大会からは、日程を10月の第3日曜日に固定した結果、過去に参加してくれた多くのチームは予め年間スケジュールに組み込んでくれているようで、「参加しやすくなった」と言ってもらえました。

上毛町を県境を挟んだ コミュニティの中心に

参加チームの一部は前日から「ゆいきらら」に宿泊するなど、大会を通して、この上毛町で県境を挟んだ交流が行われていること、西友校地区の生産者から毎回持ち回りで米を購入できることがメンバー一同とても嬉しく思います。「いただいた新米が大変美味しかったのでどこで手に入りますか」という問い合わせや、毎年契約してお米を取り寄せている方も増えています。これからも「上毛町コミュニティ新米杯」が地域も含めたもっと大きなコミュニティの場になり、上毛町産のお米のPRに繋がるようにアイデアを出しながら今後も継続・発展させていきたいと思います。

●問い合わせ先 代表 大田 浩さん

☎ 72・3797